

## 「インターネット等を活用した依存症啓発業務」委託仕様書

### 1. 業務名称

「インターネット等を活用した依存症啓発業務」

### 2. 趣旨

依存症は、特定の物質や行動がコントロールできなくなり、自分の意思では「やめたくてもやめられない」状態になる病気であるが、一般的に自己責任と捉えられることが多く、それにより適切な相談窓口や医療機関に繋がるまでに長期間かかることが少なくない。そこで、依存症のハイリスク者やその周囲の人が依存症に関する正しい知識や支援機関の情報が得られること、また、アルコールやギャンブル等に初めて接する機会が多い大学生向けの広報を行うことを目的に、インターネット等を活用した啓発業務及び啓発広告デザイン作成業務を行う。

### 3. 業務実施期間

契約締結日から令和6年3月31日まで

### 4. 事業費

1, 300, 000円以内（消費税および地方消費税を含む。）

### 5. 業務内容

当該事業を受託する者（以下「受託者」という。）は、以下の内容に従って業務を実施する。

#### (ア) インターネット等を活用した啓発

ギャンブル、ゲーム、薬物、アルコール等の依存症が疑われるハイリスク者及びその家族等に行うものとする。また、本県の依存症対策専用ランディングページ（「それは依存症かもしれません。」

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/dependence/index.html>）に誘導することで、効率的に依存症の正しい知識や相談窓口等の啓発を行うものとする。

啓発時期と広報媒体については、企画提案事業者が提案を行うものとする。

#### (イ) 広報素材の作成

上記アの実施にあたり、使用する媒体に適切な広報素材を作成すること。なお、作成したバナー等のデータを本県へ提供すること。

#### (ウ) 広告実施の結果報告・検証(効果測定)

- ・ 例月及び年間の結果を報告すること。
- ・ 月次数値、その他広告実施データを基に効果測定を行い、広告の改善提案、

見直しを行うこと。

#### (エ) その他啓発広告デザインの作成（２種）

- ・ 大学生に向けて、啓発広告デザインの版下データの制作を行うものとする。
- ・ 相談窓口の情報はデザイン内に必ず含むこととする。
- ・ 「依存症は自己責任ではなく病気であるため、適切な相談窓口等における支援が必要」であることが端的に伝わるデザイン（例えば、ポケットティッシュサイズに印刷しても文字やイラストが判別できるデザイン）と、複数の情報が含まれたデザイン（例えば、依存症のリスクやセルフチェック項目等が含まれ、A3 サイズ用紙に印刷できるようなデザイン）の２種を作成すること。
- ・ 次の①～③の特徴を考慮したデザインにすること。
  - ①依存対象に初めて接する年齢は10代～20代に多いが、繰り返すことで生じる「依存症」への問題意識は薄いため、リスク喚起の視点での広報が必要。
  - ②多くの大学でペーパーレス化が進んでいるため、学生への直接的な広報はweb上の掲載になるが、学内のラック等への配架を可とする学校もあるため、web媒体、リアル媒体両方において活用できる汎用性のあるデザインとする。
  - ③大学生にも親しみやすい表現とする。
- ・ 成果物
  - ① 完全版下データ  
データ使用 Adobe Illusuttrator
  - ② PDF データ

#### 6. 業務実施上の留意点

- ・ 広報の内容及び時期については、本県と協議・調整のうえ、実施すること。また、本県が必要とする場合、業務に関する協議及び打合せを随時行うものとし、本県が指示する場合、資料および情報の提供を行うものとする。
- ・ 本仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、また業務の履行にあたり不明な事項がある場合等においては、県と受託者が協議のうえ、決定するものとする。
- ・ 本仕様書は、業務内容について示すものであるが、仕様書に記載のない事項であっても、業務の性質上当然実施しなければならないもの及び業務の遂行に必要な事項は全て実施するものとし、これを従事者に周知徹底のうえ、業務遂行にあたること。
- ・ 業務の実施に伴い、適用を受ける法令、規定、基準、指針等については、これを遵守し、遺漏のないようにすること。